

給食費の改定について

1 これまでの経過

○平成30年10月24日

- ・帯広市学校給食センター運営委員会 賄材料費の高騰について報告

○平成30年11月19日

- ・帯広市学校給食センター運営委員会（審議1回目）～給食費改定を諮問（資料2参照）
（学校給食の役割、食材の調達方法、価格高騰の影響などについて審議）

○平成30年11月20日

- ・建設文教委員会～諮問について報告

○平成30年11月27日

- ・保護者に「お知らせ」を配付（資料3参照）

○平成30年12月20日

- ・帯広市学校給食センター運営委員会（審議2回目）
（給食費の改定経過、価格の考え方、提供日数などについて審議）

○平成31年1月28日

- ・帯広市学校給食センター運営委員会（審議3回目）～答申（資料1参照）
（答申内容について審議）

○平成31年2月14日

- ・建設文教委員会～答申について報告

2 今後の対応

帯広市学校給食センター運営委員会の答申を踏まえ、給食費の改定に向けて、関連する条例の改正及び予算の提案に必要な作業を進めていきます。

平成31年1月28日

帯広市教育委員会

教育長 嶋崎隆則様

帯広市学校給食センター運営委員会

会長 萩野泰



給食費の改定について（答申）

平成30年11月19日付け帯教給第124号で諮問を受けたこのことについて、下記のとおり答申します。

記

1 答申内容

審議の結果、給食費の改定は妥当であると意見が一致しました。

2 答申理由

近年、精米や小麦粉などの主食やおかずなどの副食に要する食材の価格が高騰しており、子ども達が給食を通して、自分たちが暮らす地域への理解を深め、食に関わる様々な文化などを学ぶために必要な多様な食材の調達が困難になってきています。

また、年間の給食提供日数が教育内容の充実などに伴い、増加してきていることに加えて、来年度からは長期休業期間の見直しが予定されており、現行の基準日数では、必要な食材の調達に支障を来すことが強く懸念されます。

昨今の経済情勢をみると、保護者の経済的負担の増加を極力少なくするなどの配慮が必要ではありますが、食育の推進など学校給食の役割を十分に果たしていくためには、給食費の改定はやむを得ないとの結論に至りました。

3 付帯意見

十勝・帯広の特色を活かした、思い出に残る帯広らしい給食の提供を目指し、地場産食材の積極的な導入を進め、さらなる食育の推進に努めていただきたい。

(写)

帯教給第 124 号

平成 30 年 11 月 19 日

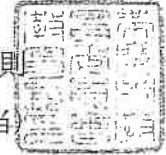
帯広市学校給食センター運営委員会

会長 萩野泰幸様

帯広市教育委員会

教育長 嶋崎隆則

(学校給食センター担当)



給食費の改定について (諮問)

帯広市の学校給食は、平成 21 年度に現在の給食費に改定した以降、平成 27 年度には現学校給食センターを稼動し、給食費単価を据え置くなかで、主食の米飯を委託から直営に切り替えるとともに、新たに主食に麺類を加えたほか、和え物やサラダを 1 品増やすなどの充実を図り、給食を提供しています。

しかしながら、近年、食材価格の高騰が続いており、主食の食材価格が上昇した分、副食分の食材費が圧迫されています。

これまで、献立や食材調達工夫により経費節減を図ってきましたが、児童生徒が給食を通して学校生活を豊かにし、食の大切さや食に関わる様々な文化などについて理解を深めるなど、学校給食が有する多様な役割を安定的に果たしていくことが厳しくなっています。

また、1 年間の給食費を算定する際の基準となる給食提供日数についても、学習活動の充実に伴って増加してきています。

こうした状況を踏まえ、帯広市学校給食センター条例第 4 条第 1 項別表に定める給食費の改定について、同条例第 5 条第 2 項の規定に基づき、下記のとおり諮問します。

記

1 給食費を次のとおり改定する。

	区分	改定前	改定後	改定内容
小学校	1 人 1 日当たり	230 円	235 円	5 円増額
	1 人 1 年当たり	43,700 円	45,825 円	2,125 円増額
中学校	1 人 1 日当たり	285 円	291 円	6 円増額
	1 人 1 年当たり	54,150 円	56,745 円	2,595 円増額

(説明資料)

1 給食費改定の考え方

(1) 1人1日当たりの給食費単価については、主食分の単価値上がりにより副食費が圧迫されている価格相当分を増額することとし、小学校においては5円増額して235円、中学校においては6円を増額して291円とする。

(2) 年間給食日数の基準日数については、これまでの実提供日数との差及び来年度見込まれる授業日数の増を勘案し、5日増加して195日とする。

2 1日当たり給食費の推移

(単位:円)

内訳	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H30年度－H27年度	
					増△減額	増△減率
【小学校】						
①主食	40.69	41.04	41.75	44.16	3.47	8.53%
米飯	20.22	20.84	21.92	24.08	3.86	19.09%
パン	69.66	69.04	70.02	72.38	2.72	3.90%
麺	73.14	73.63	72.98	76.17	3.03	4.14%
②牛乳	43.90	45.17	45.46	45.78	1.88	4.28%
③副食	145.41	143.79	142.79	140.06	△ 5.35	△ 3.68%
合計	230.00	230.00	230.00	230.00	0.00	0.00%
【中学校】						
①主食	50.94	51.89	52.45	55.74	4.80	9.42%
米飯	28.89	29.77	31.31	34.40	5.51	19.07%
パン	80.52	81.90	80.88	84.41	3.89	4.83%
麺	87.52	88.22	87.46	91.08	3.56	4.07%
②牛乳	43.90	45.17	45.46	45.78	1.88	4.28%
③副食	190.16	187.94	187.09	183.48	△ 6.68	△ 3.51%
合計	285.00	285.00	285.00	285.00	0.00	0.00%

3 年間給食日数の状況と今後の見通し

(1) 年間給食費の算定根拠となる基準日数の推移

区分	昭和40年～昭和48年	昭和49年以降
小学校	200日	190日
中学校		

(2) 実提供日数との差

- ・昭和49年以降、学習指導要領の改訂や学習活動の充実に伴い、年間の給食提供日数が増加している。なお、個別の学校事情やインフルエンザによる学年閉鎖、自然災害による臨時休校などにより、毎年度の給食提供日数は変動している。

(参考) 平成29年度の実提供日数 (全校全学年の平均)

区分	平成29年度 全校全学年の平均
小学校	192日
中学校	

(3) 今後の見通し

来年度からの小学校における外国語の教科化や中学校における指導日数の確保のため、夏季、冬季の長期休業を合わせて3日間程度削減し、授業日数を3日増やす見込みとなっている。

4 賄材料費の現状

(1) 主食材の原料及び牛乳の価格の推移 (消費税込み)

(単位:円)

品目	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H30年度-H27年度		年平均	
						増△減額	増△減率	増△減額	増△減率
精米	kg	282.96	291.60	306.72	336.96	54.00	19.08%	18.00	6.36%
小麦粉(強力粉)	kg	192.24	198.72	190.08	201.96	9.72	5.06%	3.24	1.69%
小麦粉(普通粉)	kg	154.44	158.76	156.60	166.32	11.88	7.69%	3.96	2.56%
牛乳	200cc	43.90	45.17	45.46	45.78	1.88	4.28%	0.63	1.43%

(2) 主な副食材の価格の推移 (消費税込み)

(単位:円)

品目	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 上半期	H30年度-H27年度		年平均		
						増△減額	増△減率	増△減額	増△減率	
調味料	しょうゆ	ℓ	334.80	334.80	356.40	388.80	54.00	16.13%	18.00	5.38%
	白みそ	kg	334.80	334.80	356.40	388.80	54.00	16.13%	18.00	5.38%
	三温糖	kg	199.44	210.60	210.60	210.60	11.16	5.60%	3.72	1.87%
	根昆布	袋	1,072.80	1,080.00	1,236.60	1,377.00	304.20	28.36%	101.40	9.45%
魚類	鮭切身40g	ヶ	63.86	56.70	55.80	66.96	3.10	4.85%	1.03	1.62%
	ツト	kg	1,009.80	1,009.80	1,009.80	1,009.80	0.00	0.00%	0.00	0.00%
肉類	豚上肉	kg	818.86	685.26	708.26	703.94	△ 114.92	△ 14.03%	△ 38.31	△ 4.68%
	SPF豚肉	kg	840.96	767.52	725.04	766.80	△ 74.16	△ 8.82%	△ 24.72	△ 2.94%
	若鶏むね肉	kg	478.33	357.91	439.80	475.20	△ 3.13	△ 0.65%	△ 1.04	△ 0.22%
	若鶏もも肉ぶつ切	kg	936.90	833.11	881.01	937.71	0.81	0.09%	0.27	0.03%
	ベーコン	kg	2,192.40	2,192.40	2,192.40	2,192.40	0.00	0.00%	0.00	0.00%
生野菜	玉葱	kg	216.90	270.00	261.36	237.60	20.70	9.54%	6.90	3.18%
	人参	kg	309.27	399.60	361.31	406.80	97.53	31.54%	32.51	10.51%
	長葱	kg	968.40	1,012.50	983.70	1,080.00	111.60	11.52%	37.20	3.84%
	キャベツ	kg	286.20	315.00	294.30	311.40	25.20	8.81%	8.40	2.94%
	大根	kg	251.64	366.30	281.70	311.40	59.76	23.75%	19.92	7.92%
	チンゲン菜	kg	1,167.60	1,120.50	1,157.56	1,080.00	△ 87.60	△ 7.50%	△ 29.20	△ 2.50%
	ピーマン	kg	1,223.64	1,319.40	1,296.98	1,242.00	18.36	1.50%	6.12	0.50%
	ほうれん草	kg	1,399.09	1,417.89	1,503.60	1,582.20	183.11	13.09%	61.04	4.36%
冷凍野菜	ダイスポテト	kg	168.48	195.12	248.40	248.40	79.92	47.44%	26.64	15.81%
	ハーフポテト	kg	399.60	399.60	496.80	496.80	97.20	24.32%	32.40	8.11%
	むき枝豆	kg	948.92	1,240.20	1,245.24	1,170.29	221.37	23.33%	73.79	7.78%
	人参ダイス	kg	275.40	291.60	324.00	324.00	48.60	17.65%	16.20	5.88%
日配品	もやし	kg	140.40	140.40	147.69	147.96	7.56	5.38%	2.52	1.79%
	豆腐	丁	189.72	204.12	204.12	213.84	24.12	12.71%	8.04	4.24%
	油揚げ	kg	1,897.20	2,027.70	2,052.00	2,052.00	154.80	8.16%	51.60	2.72%
	鶏卵	kg	252.18	246.24	244.35	210.60	△ 41.58	△ 16.49%	△ 13.86	△ 5.50%
缶	パイnP	缶	757.80	831.60	745.56	651.60	△ 106.20	△ 14.01%	△ 35.40	△ 4.67%
きのこ類	椎茸スライス水煮	kg	1,497.31	1,393.96	1,259.64	1,206.90	△ 290.41	△ 19.40%	△ 96.80	△ 6.47%
	なめこ水煮	kg	1,160.89	935.50	817.20	791.10	△ 369.79	△ 31.85%	△ 123.26	△ 10.62%

お知らせ 給食費の改定について検討しています

給食費の改定が必要な理由

帯広市の学校給食は、平成 27 年度から現在の学校給食センターとなり、新たに主食に麺類を加えたほか、和え物やサラダを 1 品増やすなどの充実を図り、給食を提供しています。

しかし、近年、お米や野菜など食材価格の高騰が続いており、主食の食材価格が上昇した分、副食分（おかずなど）の食材費が圧迫されています。

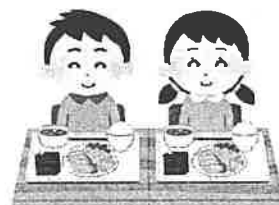
また、小学校における外国語活動・英語科の導入や中学校でも学習活動の充実に伴う年間の授業時数を確保するため、来年度から小中学校とも授業日数を 3 日増やす見込みとなっています。

こうした状況を踏まえ、教育委員会は、食育の推進など学校給食が持つ様々な役割を今後も安定的に維持していくため、給食費の改定について帯広市学校給食センター運営委員会（しもん）に諮問しました。（諮問とは：有識者などに意見をもとめること）

諮問の内容

- ☆ 1 日あたりの単価については、主食分の値上がりにより副食費が圧迫されている価格相当分を増額することとし、小学校で 5 円、中学校で 6 円を増額します。
- ☆ 年間給食費を算定する基準日数については、実際に提供されている日数との差及び来年度以降見込まれる授業日数の増を勘案し、5 日増やして 195 日とします。

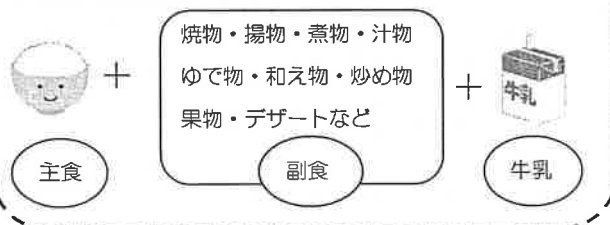
	区分	改定前	改定後	改定内容
小学校	1 人 1 日あたり	230 円	235 円	5 円増額
	1 人 1 年あたり	43,700 円	45,825 円	2,125 円増額
中学校	1 人 1 日あたり	285 円	291 円	6 円増額
	1 人 1 年あたり	54,150 円	56,745 円	2,595 円増額



※ 1 年あたり給食費＝1 日あたり単価×基準日数（改定前 190 日、改定後 195 日）

【現行単価での一食あたりの給食費内訳】			
	■ 主食	■ 牛乳	□ 副食
小学校(230円)			
平成27年度	40.69	43.90	145.41
	+3.47	+1.88	▲5.35
平成30年度	44.16	45.78	140.06
中学校(285円)			
平成27年度	50.94	43.90	190.16
	+4.80	+1.88	▲6.68
平成30年度	55.74	45.78	183.48

副食費とは、給食献立のうち主食（ご飯・パン・麺類）と牛乳以外のおかず（主菜・副菜・汁物・デザート等）を作るために必要な食材費です。



- ★ 副食の充実は、栄養バランスに大きく影響するため、学校給食においても副食費の確保はとても重要です。安全・安心で多様な食材を適切に組み合わせ、季節ごとの旬な食材の利用、様々なメニューの提供など、バリエーションに富んだ献立の工夫により、「楽しい学校給食」を提供し、児童生徒が食への興味・関心を持ってもらうことで、学校生活をより豊かにすることにつながると考えています。

今後の進め方

来年 1 月下旬に運営委員会から答申を受け、来年度予算の編成作業と併せて、給食費の改定について検討します。（答申とは：諮問に対して意見を申し述べること）

給食費について Q&A

Q1. 給食の費用は誰がどのように負担しているのですか？

A1. 学校給食を提供するために必要な経費は、学校給食法に基づいて、食材購入にかかる経費は「給食費」として保護者負担、食材費以外の経費（人件費、光熱水費、施設設備費など）は帯広市の負担とされています。



Q2. 給食費改定によりどんな効果がありますか？

A2. 給食費の改定により、子どもたちにとって魅力ある献立内容の一層の充実を図ることができるようになります。

(例)・地元産食材や旬の食材を使用した特色ある献立の充実
・様々なメニューや行事食の充実

【平成29年度 地場産（帯広・十勝）野菜導入率：57.3%】



Q3. 経済的に困難な家庭にはどのような対応がありますか？

A3. 経済的理由で給食費の支払いが困難な方に対しては、給食費など子どもの就学に要する経費を援助する制度（就学援助制度）があります。

詳しくは学校教育課（電話 65-4203）へお問い合わせください。



Q4. これまでどんな取り組みをしてきたのですか？

A4. 栄養価等を維持しながら価格高騰に対応するため、次のような取り組みを行ってきました。

- ・安価な食材に変更するなど、献立内容の調整を行いました。
- ・食材の規格を見直すなどして、入札参加者を増やすことにより、食材購入費を抑える調整をしてきました。



Q5. 来年10月に消費税が10%に改定されることが予定されていますが、再度給食費の値上げをするのですか？

A5. 食材の購入には軽減税率が適用され、8%に据え置かれる見込みのため、給食費の値上げは予定していません。



【問合せ先】

帯広市教育委員会 学校教育部 学校給食センター
電話 0155-49-1900

(平成30年11月発行)